

北朝鮮弾道ミサイルに関する警戒会議

【日時】

令和4年11月18日（金）午後1時30分から

【場所】

災害対策本部室（鳥取県庁第2庁舎3階）

【参集範囲】

知事、副知事、統轄監、危機管理局、総務部、農林水産部
警察、自衛隊

※市町村、各総合事務所等には、映像配信

【議題】

- （1）本日のミサイル発射状況
- （2）県の対応状況
- （3）その他

1 ミサイル発射の状況(報道内容)

【発射日時】

令和4年11月18日(金)午前10時14分頃

【ミサイルの種類及び発射数】

ICBM(大陸間弾道ミサイル)級の長距離弾道ミサイルとみられる

【発射地点】

平壤近郊の順安(スナン)付近

【落下推定位置】

午前11時23分頃

北海道の西側の日本のEEZ(排他的経済水域)の内側に着弾の様様

※北朝鮮によるミサイル発射は今年に入って34回目(うち弾道ミサイル31回)

※日本のEEZ内への着弾は、R4. 3. 24以来で今年2回目

県の安否確認状況

◎県関係船舶、航空機の安全は確認済

◆県関係の安否確認の状況(11/18 11:30 全て確認済)

○漁 船(漁業調整課) ⇒ 全船異状なし

○若鳥丸(教育総務課) ⇒ 異状なし

○航空機(観光戦略課) ⇒ 異状なし

【総理指示】

11月18日(金)

■総理指示

- 1 情報の収集と分析に全力を挙げ、国民に対し、迅速・的確な情報提供を行うこと
- 2 航空機や船舶などの安全確認を徹底すること
- 3 不測の事態に備え、万全の態勢をとること

2 県の対応状況（初動対応）

【時間】	【概要】
10:21	<ul style="list-style-type: none">・内閣官房からミサイル発射情報を受信（10:18）・知事報告・指示→ 直ちに漁船等の安否確認を開始→ 職員参集メール等で庁内情報共有
10:46	<ul style="list-style-type: none">・鳥取県関係の安否確認完了
11:03	<ul style="list-style-type: none">・内閣官房からミサイル飛翔中情報受信
11:13	<ul style="list-style-type: none">・内閣官房からミサイル落下推定地点情報受信→ 改めて漁船等の安否確認を実施
11:25	<ul style="list-style-type: none">・内閣官房からミサイル落下推定情報受信
11:30	<ul style="list-style-type: none">・鳥取県関係の再度の安否確認完了

【知事コメント】

令和4年11月18日

- ・北朝鮮はAPEC首脳会議まで狙い撃つかのように弾道ミサイル発射を繰り返し、東アジアと世界の平和を踏みにじることに断固抗議する。
- ・県関係船舶の安全は確認したが、政府は拉致問題を含め解決を図って欲しい。

【拉致被害者御家族(松本 孟 氏)コメント】

令和4年11月18日

- ・北朝鮮がこのようなミサイルの発射をしたことは、本当に無駄なことだ。危険であり絶対にやめてほしい。
- ・家族としては、拉致問題について国際協力して解決に向けて動いてほしい。政府はとどまることなくしっかり進めてほしい。

【県民へのお願い】

- ・不審な落下物には近づかず、警察、消防、海上保安庁に通報してください。
- ・今後も国又は県が発信する情報に注意してください。

【県の体制】

<情報収集・連絡調整>

◆市町村・関係機関との連携

◆情報の伝達に万全を期すため3手段を確保

■Jアラート

国→県・市町村への情報伝達(文字・音声の送信)

※防災行政無線を通じて自動放送(鳥取県に飛来する可能性がある場合のみ)

■エムネット

国→県・市町村・消防局等への情報伝達(メールによる添付ファイル送付)

■消防防災無線FAX

国→県→市町村・消防局等への情報伝達

<住民等への情報提供>

■県ホームページ(携帯電話用も含む。)、あんしんトリピーメール、ツイッター、フェイスブック、Lアラート、災害情報ダイヤル(電話0857-26-8100)、Yahoo!防災速報による情報提供

■報道機関、市町村を通じた情報提供



■県は対応レベルを上げた警戒態勢とする。

◆各部局の対応

危機管理局	<ul style="list-style-type: none">・情報の収集、集約及び伝達・国、市町村、関係機関（自衛隊・海上保安庁・警察・消防）との連絡調整・住民広報（令和新時代創造本部と共同）
交流人口拡大本部 （観光戦略課）	<ul style="list-style-type: none">・落下後の国内便への安否確認
生活環境部 （原子力環境センター）	<ul style="list-style-type: none">・モニタリング態勢を強化
農林水産部 （漁業調整課）	<ul style="list-style-type: none">・落下区域操業漁船の把握及び安否確認・関係する漁業者への注意喚起
教育委員会 （教育総務課）	<ul style="list-style-type: none">・海洋実習船の航行状況の把握及び着弾後の安否確認
共通	<ul style="list-style-type: none">・万万が一に備えた対策 「屋内退避等の呼びかけ準備」 「県内に着弾した場合の対応準備」

【ミサイル発射時の避難行動】



弾道ミサイル落下時の 行動について

弾道ミサイルは、発射からわずか10分もしないうちに到達する可能性もあります。ミサイルが日本に落下する可能性がある場合は、国からの緊急情報を瞬時に伝える「Jアラート」を活用して、防災行政無線で特別なサイレン音とともにメッセージを流すほか、緊急速報メール等により緊急情報をお知らせします。

①速やかな避難行動

②正確かつ迅速な情報収集

行政からの指示に従って、落ち着いて行動してください。



国民保護ポータルサイト
武力攻撃やテロなどから身を守るために



事前に確認しておきましょう。
http://www.kokuminhogo.go.jp/gaiyou/shiryu/hogo_manual.html

— ミサイル落下時には、こちらから政府の対応状況をご覧になれます —



首相官邸
ホームページ
www.kantei.go.jp/



Twitterアカウント
首相官邸災害・危機管理情報
@Kantei_Saigai



Jアラート (例) 直ちに避難。直ちに避難。直ちに建物の中、又は地下に避難してください。ミサイルが、●時●分頃、●●県周辺に落下するものとみられます。直ちに避難してください。

メッセージが流れたら

落ち着いて、直ちに行動してください。

屋外に
いる場合

近くの建物の中か
地下に避難。

(注) できれば頑丈な建物が望ましいものの、近くになれば、それ以外の建物でも構いません。

建物が
ない場合

物陰に身を隠すか、
地面に伏せて頭部を守る。

屋内に
いる場合

窓から離れるか、
窓のない部屋に移動する。

近くに
ミサイル
落下!

- 屋外にいる場合：口と鼻をハンカチで覆い、現場から直ちに離れ、密閉性の高い屋内または風上へ避難する。
- 屋内にいる場合：換気扇を止め、窓を閉め、目張りをして室内を密閉する。